平戸市立中部中学校　学校評価アンケート（３学期）考察

Ｒ５　１．31

確かな学力

〇授業での ICT 活用や工夫に関しては、三者とも評価が高い。（１回目よりも向上）

〇授業の理解に関しては、生徒と職員の評価が高いことから、授業時の活動は良好だと思われる。

〇基礎・基本的な学力の定着、家庭学習の取組については、保護者、教職員の評価が低いが、１回目よりもアップしている。

→「家庭学習にきちんと取り組んでいる」の項目で生徒の肯定的意見が大きく向上している。各教科担当からのアドバイスや家庭学習の方法を三段階で提示する資料等を生徒に与えたことが大きいと思われる。

豊かな心

〇良好である。ほとんどの項目で１回目より向上している。アンケートの数値から、規律と温かさのある集団ととらえられる。

●悩み事を誰かに相談できていない生徒の存在に、気付き、必要な手立てを講じていく必要がある。

→生徒理解や支援についての校内研修や情報交換の機会をさらに機能させていく。

たくましい心身

〇体を動かすことについては、概ね良好である。

●部活動等に熱心に取り組んでいるが、主体性（自ら進んで）という部分で保護者の評価が生徒に比べるとやや低い。（1 回目よりも低下）

→部活動に対するモチベーションに個人差が大きい。生徒の様子に気を配ることも必要である。

●７～８時間の睡眠時間の確保については、保護者、職員とも評価が低い。
（三者とも１回目より低下）

→部活動の取組や体力の向上についての意欲の高さを利用して、睡眠や食事といった基本的な生活習慣が体つくりにつながることを、理解させ、実践できるようにしていく必要がある。

教育環境

〇生徒、保護者、職員共に概ね良好。

学校・家庭・地域の連携

〇平戸に対する愛着は強い。地域からも大切にされていると感じている。

●「学校だよりや学級通信が家庭に渡っている」の項目が生徒、保護者で１回目より低下。
→プリント類の管理について、ファイルの活用等を学校全体で見直す。

●保護者の PTA 活動への参加に関する評価が低い。
→PTA 研修部を中心に、各家庭で取り組む「親子５分間チャレンジ」を行っているが、１回目より三者とも低下している。学年 PTA や役員会等でも話題としたい。

●将来、平戸に住むことには、三者とも肯定的意見が低い。（１回目より低下）

→生徒、保護者の思いを知る機会やふるさと教育の視点で様々な活動を仕組んでいくことができなかった。次年度の課題としたい。

教職員

〇概ね良好。不祥事根絶と相互の連携や協力体制の構築への参画に関しては、ほぼ全員が肯定的評価。

●働き方改革の進み具合に対する評価が低い。

→時間外勤務時間は、昨年度が月平均３７時間、今年度が月平均３２時間と減っている。また、「職場が楽しい」の項目に対する職員の肯定的評価は100％であった。しかし、働き方改革が進んでいないと感じるという事は、「仕事量が減った」「負担感が減った」と感じていないものと思われる。仕事量の削減、内容の見直しを次年度の課題としたい。